令和4年1月14日(金)発行

20120 4 2014 4 2010 4 2010 4 2014 4 2014

奈良県感染症情報 🧃

令和3年第52週(12月27日~1月2日) 令和4年第1週(1月3日~1月9日) 奈良県感染症情報センター(奈良県健研究センター)

https://www.prcf.nara.jp/27874.htm TEL:0744-47-3183

今週の概要

小児科外来情報 ※令和3年52週(12月27日~1月2日)

◆定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患)(令和4年第1週)◆

重		→	→	1	→	←
H.	}	→	→	44	↑	→
がなって	400k	8	→	4	←	44
	増減	71	→	+	1	1
奈良県	(前週)	(5.15)	(0.71)	(0.03)	(0.21)	(0.29)
₹R	定点当たり	5.00	0.53	0.29	0.29	0.24
机	日语光	感染性胃腸炎	手足口病	A群溶連當咽頭炎	突発性発しん	0因5頁給古1莫熱
	乜	_	7	m	m	5

発生状況: 大満石 満石 やや流行 少し流行 散発 (疾患毎に、基準値を定めています。) 増減:過去5週間平均数と比べたときの変化 44急艦 41節に、4やや地肌、4横ばい、44や移域、4減少

◆県内概況(新型コロナウイルス関係)◆

第 52 週の新型コロナウイルス新規感染者数は 26 名と第 51 週より増加しています。 令和 4 年第 1 週の新型コロナウイルス新規感染者数は 368 名と第 52 週より急増しています。

具民のみなさまには、引き続きの感染予防の徹底へのご協力をお願いいたします。

◆**県内概況(その他の感染値)◆** 第 52 週から第 1週にかけては年末年始で多くの医療機関が体診であったため、定点把極感染症の報告数 は一時的に減少しています。 時期はずれの流行が見られていた手足口病の定点当たり報告数は減少傾向にあります。 また、インフルエンザの報告はありません。

◆小児科外来情報◆

北部地区(田中小児科医院)

中部地区(国本内科にどもクリニック)

ノロ様の感染性腸炎が年末から続いてみられる。

軽度の嘔吐 短期の下痢で熱は少なく軽症経過。家族内感染も少ない様子。 年末休校等で接触機会減少のためか咳嗽等の上気道の感染例は少なかった。

トかごストンスに該えば、シンジングキシコスコンジメリッションションが存むシレカった。発熱例は少なくCovid19疑い例、インファエンザ線・例はなかった。

南部地区(南奈良総合医療センター小児科)

軽症胃腸炎が増加、各種迅速検査では陰性で、対症療法で軽快している。 手足口病はみらかなくなったが、アデノウイルス陽性の腺窩性扁桃炎は散見されている。食事摂取困難 例では輸液を要している。

COVID-19 陽性例もみられだした。

奈良県感染症情報 🏥

□ 令和 4 年 第 2 週(1月 10日~1月 16日)
□ 奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)
□ https://www.prof.nata.ip/2787/l.htm TEL:07/4-47-3183

今週の概要 |● 小児科外来情報

• 12.月報(月単位報告対象疾患(性感染症・薬剤価性協感染症)の状況)

◆定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患)◆

拉拉	<u>d</u>	ĸ	↑	→	↑	→
1	7 1	7	↑	↑	→	1
がなって	Alcop	1	44	7	→	1
	増減	71	44	7	→	77
奈良県	(前週)	(2.00)	(0.29)	(0.29)	(0.53)	(0.24)
KIK I	定点当たり	7.00	0.85	0.26	0.24	0.18
予売	D	感染性胃腸炎	A群溶連當咽頭炎	突発性発しん	手足口病	1因頭絡部莫熱
<u> </u>	坦	_	2	8	4	Ŋ

発生状況: 大瀬子 瀬子 やや流行 少し流行 <u>散発</u> (疾患毎に、基準値を定めてい、ます。) 増減:過去5週間平均数と比べたときの変化 44急戦 41億m 31やや1億m 4横ばい 24や6減火 4減少

◆県内概況(新型コロナウイルス関係)◆

第2週の新型コロナウイルス新視感染者数は353名と第1週の368名と比べて急増しています。 昨年の年末以降、感染者が増加傾向にあります。また、県内でも確認されているオミクロン株の感染力の強な、懸念されます。 ウイルスとの戦いよ、正しい情報(エビデンス)に基づいて、冷静に対処することが何よりも重要です。 県では、感染の拡大に対応できる医療提供体制を堅持するとともに、3回目のワクチン接種を迅速に進めることにより、県民の命を守るため全力で取り組みます。

ユニンスペンショココンションスエンスペンディスティッ 具民のみなさまには、適切に感染防止を図りながら、できるだけ日常生活を維持していただくごうお願いしま

◆眠内概況(木の街の懸染症)◆

感染性胃腸炎の報告数が前週に比べて増加しており、特に郡山保健所管内、中和保健所管内での報告が多くなっています。原因病原体の多くは患者の便から大量に排出されますので、おむらの処理後やトイレの後には手洗いを徹底し、感染予防に努めましょう。

◆小児科外来情報◆

代部勘区(田中小児粒配配)

感染性胃腸炎が癒いている。下痢症状が長引くが全身状態は良好な症例がほとんどである。 迅速検査で容庫菌とアデノの両方が陽性となる症例があった。

ADELICAL NOTES NO

7.トエンボな無い

中部地区(岡本内科こどもクリニック)

微熱、軽度の鼻水程度の感冒が多いが、Covid19 検査場性例はなかった。 嘔吐、下痢の感染性腸炎が流行、発熱を伴う例は少ない。軽症経過で家族内感染もない例が多い

手足口病(対域少した。

南部地区(南奈良総合医療センター小児科)

ウイルス性胃腸炎が増加。症状はノロウイルス感染機。 遷延する呼吸器感染症が増えてきている。ほとんどがウイルス性上気道炎だが、COVID-19 との鑑別が 必要となっている。 インフルエンザの流行はみられない。RS ウイルス感染は散発。 手足口病、アデノウイルス咽頭後はみられるが減少している。

令和4年1月28日(金)発行

201 301 4 4 30 301 4 4 30 301 4 4 30 301 4

奈良県感染症情報

TEL:0744-47-3183 奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター) 令和4年 第3週(1月17日 ~ 1月23日) www.prof.nara.jp/27874.htm

新型コロナウイルス感染症陽性者の方と接触のあった方へ

◆定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患)◆

1		↑	→	→	↑	↑
£	7 }	↑	++	++	→	44
ロロイト	7001	K	→	→	7	+
	増減	1	44	44	7	44
奈良県	(前週)	(7.00)	(0.85)	(0.03)	(0.18)	(0.03)
IĀIK	定点当たり	9.12	0.85	0.24	0.15	0.12
市市	大河口	感染性胃腸炎	A群溶連菌咽頭炎	RSウイルス懸染症	1因頭給 膜熱	ヘルバンギーナ
E	乜	_	2	m	4	2

増減:過去5週間平均数と比べたときの変化 ←午舎場、午増加、日本や増加、→横ばい、とやや減少、→減少 (疾患毎に、基準値を定めています。) 散発 少し指行 わや消行 近近 発生状況: 大流行

◆県内概況(新型コロナウイルス関係)◆

昨年の年末以降、感染者が増加傾向にあります。また、県内でや、確認されているオミクロン株の感染力の強 第3週の新型コロナウイルス新規感染者数は2965名と、前週より約3倍に増加しています。 ない懸念されます。

県では、感染の拡大に対応できる医療提供体制を堅持するととれて、3回目のワクチン接種を迅速に進める ウイルスとの戦いは、正しい情報(エビデンス)に基づいて、冷静に対処することが何いが。重要です とにより、県民の命を守るため全力で取り組みます。

具民のみなさまには、適切に感染防止を図りながら、できるだけ日常生活を維持していかだくようお願いしま

◆県内概況(その街の敷染値)◆

感染性胃腸炎が増加しています。こまめに流水と石けんによる手洗いを行うよいこしましょう。

◆新型コロナウイルス感染症陽性者の方と接触のあった方へ◆

現在県内において、新型コロナウイルス感染症の感染が急拡大していることから、当面の間、保健所の 農厚接触者の特定にかかる業務については、感染の可能性の高い家族や重症化しやすい方に絞ることで、 対象者を迅速に把握し、適切な療養につなぐことを優先し対応することとしています。

陽性者の方と接触のあった方への相談窓口等は下記の URL をご参照ください。 ◎新型コロナウイルス感染症陽性者の方と接触のあった方へ(奈良県 HP)

https://www.pref.nara.jp/60130.htm

●濃厚接触者とは?

- 家族等、陽性者と同居している方
 発症日の2 日前(無症状の方は検査日の2 日前)から現在までに接触のあった方で、以下のいずれかに該当する方

 - ①長時間の接触(車内等を含む)があった方 ②適切な感染防護(マスク等)なしに陽性者を診察、看護もしくは介護していた方 ③お互いにマスク等の必要な感染予防策なしで、手の触れることの出来る距離(目気は 1m)で、15 分以上の会話等
- ●濃厚接触者となった方は、不要不急の外出を控え、健康観察をしてください 健康観察期間・・ 陽性者と最後に接触した日の翌日から数えて10日間

令和 1 年 2 月 1 日 (金) 発行

奈良県感染症情報

www.prcf.nara.jp/27874.htm TEL:0744-47-3183 奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター) 令和4年 第4週(1月24日~1月30日)

小児科外来情報

◆定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患)◆

THE PERSON NAMED IN	d	→	→	→	7	→
1	7 1	7	44	7	7	→
がなって	400h	1	→	←	→	→
	増減	1	44	K	7	→
奈良県	(前週)	(9.12)	(0.24)	(0.03)	(0.15)	(0.85)
	定点当たり	7.12	0.29	0.29	0.12	0.03
市市	大河口	感染性胃腸炎	RSウイルス感染品	突発性発しん	1因5頁結1模熱	A群溶連當IM頭炎
<u></u>	口	_	2	2	4	Ŋ

増減:過去5週間平均数と比べたときの数化 予予部第一条地に、当から間に、予構はい、となな減少、予減少 (疾患毎に、基準値を定めています。) 散発 少し消化 わび消行 発生状況: 大

◆果内概況(新型コロナウイルス関係)◆

昨年の年末以降、感染者が増加傾向にあります。また、 県内でが、確認されてい るオミクロン株の感染力の強 第1週の新型コロナウイルス新規感染者数は5279名と、前週上外、大幅に増加しています。

県では、感染の拡大に対応できる医療提供体制を壁棒するとどらに、3回目のワクチン接種を迅速に進める ウイルスとの戦いは、正し、情報(エビデンス)に基づいて、冷静に対処することが何よりも重要です。

具民のみなさまには、適切に感染防止を図りながら、できるだけ日常生活を維持していっただくようお願いしま ことにより、県民の命を守るため全力で取り組みます。

◆小児粒外来信報◆

北部地区(田中小児科医院)

乳幼児の鼻風邪が見られるがRSの検査はしていない COVID-19 が見られる。家庭内感染例は多い。 インレチエンがなどの届出疾患はない。 感染性胃腸炎は減少している。

中部地区(国本内科こどもクリニック)

保育園等でCovid19発生、検査希望の連絡が増加、陽性者

微熱、咽頭痛の訴えが多い。感染性腸炎は減少してきた。 その他の届け出疾患はなかった

インフルエンデは2年間見られず。

南部地区(南奈良総合医療センター小児科)

胃腸炎は減少してき

アデノウイルス咽頭炎は散見されている。インフルエンザ、 RSウイラスの流行さない。

咽頭痛の割に咽頭所見は乏しい。臨床症状での鑑別は困難。 普通感冒症状のうち、COVID-19陽性者が散見されている。



出典:国立懸染症研究所ホームネージ (https://www.nicks.io/nie/a/ndela-poster2013/html)

令和 4 午 2 月 10 日 (木) 発行

20 30 4 4 30 30 4 4 30 30 4 6 7 5 7 5 7 6 7 6 7 6 7 6 7 6

www.prof.nara.jp/27874.htm TEL:0744-47-3183 奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター) 令和4年 第5週(1月31日~2月6日) 奈良県感染症情報

・ 県の対応・発熱等の相談について・ 1月報(月単位報告対象死患(性感染症・薬剤価性菌感染症)の状況)

◆定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患)◆

_	_				-	
南部		7	←	→	44	→
T TA	7 }	7	←	ĸ	←	→
がなって	Aloop	1	←	7	→	→
	増減	1	+	1	+	→
奈良県	(前週)	(7.12)	(0.29)	(0.03)	(0.29)	(0.03)
₹R	定点当たり	5.38	0.41	0.26	0.24	60'0
南部分	10000000000000000000000000000000000000	感染性胃腸炎	突発性発しん	手足口病	RS ウイルス感染症	A群溶連菌咽頭炎
9	垣	_	2	8	4	5

増減:過去5週間平均数と比べたときの変化 ←←急増 ←増加、7やや増加、→横ばい、とやや減少、→減少 (疾患毎に、基準値を定めています。) 散発 少し指引 わび流行 発生状況: 大流行

◆果内概況(新型コロナウイルス関係)◆

県民の皆さまには、「適切な感染防止」を心がけ、「日常生活を維持」していただくい、お願いいたします。 第5週の新型コロナウイルス新規感染者数は6,498名と第4週の5,279名より増加しています。

◆県内概況(その街の敷染値)◆

第 5 週の感染性胃腸炎の定点当だり報告数は 5.38 と第 4 週の 7.12 から減少しています。この他の感染症も特に大きく増加傾向にはありません。 また、今年に入ってから第 5 週までインフルエンザの報告はありま

果の対応・発熱等の相談について

○新型コロナウイルス感染症については、県のホームページに最新情報を掲載しています。

○発熱等の症状のある方は、まず、身近な医療機関に電話相談してください。

身近な医療機関がない方は、「新型コロナ・発熱患者受診相談窓口」に電話相談してください。

○発熱等の症状がな、場合でき、<u>感染の不安のある方は、「新型コロナ・発熱患者受診相談窓口」に電話相</u> 数してください。

○奈良県における新型コロナウイルス感染症にかかる検査対象

- ・感染判明者との接触があった方、感染リスクのある場所に滞在された方(いずれも検査前2週間以内) 本症状の有無にかかわらず、感染リスクのある方(下記は例示であり、必要に応じて検査対象となります。) ・勤務先や通学先、自宅などに、発熱等の有症状者がおられる方
 - •医療従事者、福祉施設従事者

■新型コロナ・発熱患者受診相談窓口(旧帰国者・接触者相談センター)

相談窓口	電話番号	FAX 番号	対応時間
奈良県庁	07/12-27-1132	0742-27-8565	平目•土目祝 24 時間

令和 4 年 2 月 18 日 (金) 発行

奈良県感染症情報

https://www.prof.nara.jp/27874.htm TEL:0744-47-3183 奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター) 令和4年 第6週(2月7日~2月13日)

• 小児科外来情報

◆定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患)◆

加拉	d ₩	→	1	→	→	→
H H		71	1	1	+	→
ジロボント	400p	71	→	→	+	→
	増減	7	7	↑	+	→
奈良県	(凱通)	(5.38)	(0.41)	(0.24)	(0.03)	(0.09)
₹lb	定点当たり	3.82	0.21	0.18	0.12	60.0
疾患名		感染性胃腸炎	突発性発しん	RSウイルス感染品	水痘	A群溶連菌咽頭炎
	垣	_	7	m	4	Ŋ

|欝蔵:過去5週間平均数と比べたときの数化 予予記載・予節に、3を付置に、予横ばい、となな減少、予減少 (疾患毎に、基準値を定めています。) 散発 少し指定 わむ流行 発生状況: 大流行

◆県内概況(新型コロナウイルス関係)◆

第6週の新型コロナウイルス新規感染者数は7672名と、第5週の6198名より増加しています。 昨年の年末以降、オミクロン株による感染が広がっています。

県では、医療機関や市町村との情報共有を図り、関係機関との連携のもとに新型コロナウイルス感染症対 ウイルスとの戦いな、正しい情報(エビデンス)に基づいて、冷静に対処することが何よりも重要です。 策を推進していきます。

引き続き、県民の命を守る「医療提供体制を壁特」するとどれ、「3 回目のワクチン接種を迅速に進める」こ どにより、感染の拡大に対処します。

具民のみなさまはは、「適切な感染防止」を心がけ、「日常生活を維持」していただくいお願いします。

◆小児科外来情報◆

北部地区(田中小児科医院)

少ないが感染性胃腸炎があり、1例はカンピロバクダ腸

が目立っようになった。検査を実施しないと診断できてい 濃厚接種者でない園児や学童で COVID-19 の陽性例 ない。幸いて軽症で経過している模様。

中部地区 (国本内 粒こどもクリニック)

細菌性髄膜炎があった

Covid19 陽性例が散見される。他の登録疾患はなかっ 外来数は少ない。軽症経過の感染性腸炎が流行。

南部地区(南奈良総合医療センター小児科)

と臨床的な違いはあまりなく、また花粉症との鑑別も必要 COVID-19 感染症が急増している。小児では普通感冒

RSウイルス感染は散見されるも、インフルエンザの流行は みられない。ノロウイルス含めたウイルス性胃腸炎の流行 が続いてる



出典:厚生労働省ホームページ (https://www.mihhwgo.jp/content/000835169.pdf)

令和4年2月25日(金)発行

201 301 4 4 30 301 4 4 30 301 4 4 30 301 4 奈良県感染症情報

www.prof.nara.jp/27874.htm TEL:0744-47-3183 奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター) 令和4年 第7週(2月14日~2月20日)

3月1日(火)~3月7日(月)はナビら予切接種週間です
 新型コロナワクチンの5~11歳の子どもへの接種(小児接種)について

◆定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患)◆

拉拉	d ₩	→	→	→	→	→
山並	급 }	71	→	7	→	→
는 기타기	400k	7	ĸ	*	++	→
	増減	7	1	7	ĸ	→
奈良県	(前道)	(3.82)	(0.21)	(0.18)	(0.12)	(0.03)
₹R	定点当たり	4.21	0.21	0.12	90:0	0.03
序形力	大 万 万	感染性胃腸炎	突発性発しん	RS ウイルス感染症	水痘	1因 豆氨 格力 美杂
E	扫	_	7	m	4	Ŋ

増減:過去の適間平均数と比べたときの変化 ◆◆急増、◆増加、●やや増加、◆横ば、、◆やな減少、◆減少 (疾患毎に、基準値を定めています。) 散発 少し消む かも流行 発生状況: 大流行

◆県内概況(新型コロナウイルス関係)◆

第7週の新型コロナウイルス新規感染者数は 8253 名と、第6週の 7672 名より増加しています。 昨年の年末以降、オミクロン株による感染が広がっています。

県では、医療機関や市町村との情報共有を図り、関係機関との連携の乳とに新型コロナウイルス感染症対策 ウイルスとの戦いは、正しい情報(エビデンス)に基づいて、冷静に対処することが何よりも重要です。

引き続き、県民の命を守る「医療提供体制を堅特」するとともに、「3 回目のワクチン接種を迅速に進める」こと

県民のみなさまには、「適切な感染防止」を心がけ、「日常生活を維持」していただくようお願いします。 こより、感染の拡大に対処します。

3月1日(火)~3月7日(月)は子ども予防接種週間です

わからお知らせしています。必要な予防接種を済ませているかどが、この機会に確認し、1月からの入園・入学 予防接種や乳幼児健診は、お子さまの健やかな成長のために一番必要な時期に受けていただくよう、市区町 に備えて必要な予防接種を済ませ病気を未然に防ぎましょう。

新型コロナウイルス感染症の影響で、お子さまを医療機関に連れて行くことに抵抗がある方が、らっしゃるがも しれません。しかし、特に赤ちゃんの予防接種を遅らせると、免疫がつくのが遅れ、重い感染症になる危険性が 高まります。お子さまの健康が気になるときだからこそ、予防接種と乳幼児健診は、遅らせずに、予定どおり受け 詳しくは、かからしけのお医者さんなお住まいの自治体にお問い合わせください。

新型コロナワクチンの5~11歳の子どもへの接種(小児接種)について

日本国内に住民登録のある5~11歳の方を対象に、新型コロナワクチンの接種(小児接種)を 令和4年3月から開始する予定です。ただし、自治体の準備状況によっては同年2月末から 開始することもありますので、市町木わらの広報などをご確認ください。

接種総合案内サイト「コロナワクチンナビ (https://v_sys.mhlw.go.jp/) 」などをご確認ください。 原則として、住民票所在地の市町村(住所地)の医療機関や接種会場で接種を受けて ワクチンについての疑問や不安があるときは、かかかつけ医等によくご相談へださい。 ただきます。医療機関や接種会場を探すには、各市町村のホームページや広報

詳しく(は厚生労働省 HP 「5~11 歳の子どもへの接種(小児接種)にしいてのお知らせ」

(https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine_for_children.html)

コロナワクチンナセ

可以是旧

奈良県感染症情報

https://www.prof.nara.jp/27874.htm TEL:0744-47-3183 奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター) 令和4年 第8週(2月21日~2月27日)

• 小児科外来情報

◆定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患)◆

10 17 17 17	海岛		→	→	←	^
÷ ÷	-	→	→	→	7	→
サンサロ	Alcop	→	7	1	→	7
	増減	→	7	→	7	→
奈良県	(配貨)	(4.21)	(0.21)	(0.12)	(0.03)	(50°0)
ŊR	定点当たり	2.35	0.12	90:0	90.0	0.03
疾患名		感染性胃腸炎	突発性発しん	RS ウイルス感染品	0因頭 給 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	A群溶連菌咽頭炎
#	坦	_	2	m	m	2

増減:過去5週間平均数と比べたときの変化 ◆◆急増、◆増加、4やや増加、◆横ばい、とやや減少、◆減少 (疾患毎に、基準値を定めています。) 散発 少し近沿 かが消行 発生状況: 大流行

◆果内概況(新型コロナウイルス関係)◆

県民のみなさまには、「適切な感染防止」を心がけ、「日常生活を維持」していただくじが願いします。 第8週の新型コロナウイルス新規感染者数は6,798名と、第7週の8,253名より減少しています。

◆県内概況(木の街の懸楽류)◆

も特に大きく増加傾向にはありません。 また、 今年に入ってから第 8 週までインフルエンザの報告はありません。 第8週の感染性胃腸炎の定点当たり報告数は2.35と第7週の4.21から減少しています。この他の感染症

◆小児科外来情報◆

北部地区(田中小児科医院)

COVID19 が見られるが、感染性胃腸炎以外に登録すべき 疾患はない。

園児や学童の COVID19 は、1 日の高熱で快方に向う症例 がまとんどのようです。

中部地区(国本内科にどもクリニック)

発熱の子供で家族状況、学校接触、等から Covid19 疑い例

感染性腸炎は減少してきた。他の登録疾患は見られない。 成人では検査陽性例が増えており身近に迫ってきた印象。

南部地区(南奈良総合医療センター小児科)

目に熱、頭痛、腹痛、関節痛、咽頭痛がみられるが、2 日目以 降は大半が解熱し、普通感冒と大差なくなっている。一部発熱 COVID-19 感染症の流行が続いている。小児では発症1日 の遷延する場合もある。

ウイルス性胃腸炎は減少してきた。インフルエンザの発生は



V BERRIS (BRANKIRA 1721/1922 OCH

令和4年3月11日(金)発行

201 301 4 4 30 301 4 4 30 301 4 4 30 301 4

www.prcf.nara.jp/27874.htm TEL:0744-47-3183 令和4年 第9週(2月28日~3月6日) 奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター) 奈良県感染症情報

動物由来感染症いついて

◆定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患)◆

南部		7	*	→	*	→
H H	a 1	7		++	7	→
고 다 다	4POD	→	7	→	→	←
	増減	7	7	←	→	K
奈良県	(前週)	(2.35)	(0.12)	(90'0)	(90'0)	(0)
∜K	定点当たり	2.41	0.18	0.12	60'0	0.06
定事な	大河口	感染性胃腸炎	突発性発しん	1因頭給調藥	RS ウイルス感染症	水痘
E	乜	_	2	ო	4	2

増減:過去5週間平均数と比べたとおの変化 予予急遇、予増加、すなな間に、→横ばい、となな減少、→減少 (疾患毎に、基準値を定めています。) 散発 少し逃行 もも指行 派 発生状況: 大流行

◆果内概況(新型コロナウイルス関係)◆

第9週の新型コロナウイルス新規感染者数は6911名と、引き続き高い水準で推移しています。

ウイルスとの戦いは、正しい情報(エビデンス)に基づいて、冷静に対処することが何よりも重要です。 昨年の年末以降、オミクロン株による感染が広がっています。

県では、医療機関や市町村との情報共有を図り、関係機関との連携のなどに新型コロナウイルス感染症対策 を推進して きます 引き続き、県民の命を守る「医療提供体制を堅持」するととがに、「3 回目のワクチン接種を迅速に進める」こと により、感染の拡大に対処します

県民のみなさまには、「適切な感染防止」を心がけ、「日常生活を維持」していただくじょお願いします。

割物田米敷染信にしいて

「動物由来感染症」とは動物から人に感染する病気の総称です。 「人獣共通感染症」や「人と動物の共通感染症」ともいわれます が、厚生労働省は人の健康問題という視点から、「動物由来感染 人と動物に共通する感染症 (Zoonosis:ズーノーシス)は、 症」という言葉を使っています。

「動物由来感染症」には、人も動物も発症するもの、動物は無症状で人だけが発症するもの等、病原体によって様々なものが、 あります。

◎令和4年の動物由来感染症のハンドブックが掲載されてい

伝播経路や病原体についての詳細は下記を参照ください。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_ir 厚生労働省 IP「動物由来感染症

you/kenkou/kekkaku-kansenshou18/index.html



令和 4 年 3 月 18 日 (金) 発行

奈良県感染症情報

www.prcf.nara.jp/27874.htm TEL:0744-47-3183 令和4年第10週(3月7日~3月13日) 奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

• 小児科外来情報

◆定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患)◆

High High High High High High High High	a ₩	7	++	++	→	→
- F	급 }	7	K	^	44	←
がなって	400k	→	→	→	→	→
	増成	7	+	7	+	7
奈良県	(前週)	(2.41)	(60'0)	(0.18)	(0.12)	(0:03)
张 -	定点当たり	2.00	0.21	0.15	0.12	0.03
中	朱诗中	感染性胃腸炎	RS ウイルス感染品	突発性発しん	0因5頁結6度熱	A群溶連菌咽頭炎
<u></u>	坦	_	2	8	4	5

増減:過去5週間平均数と比べたときの数化 予予部第一条地に、当から間に、予構はい、となな減少、予減少 | 散発 | (疾患毎に、基準値を定めています。) 少し近沿 かや消化 発生状況:

◆県内概況(新型コロナウイルス関係)・

第 10 週の新型コロナウイルス新規感染者数は 5212 名と、引き続き高い水準で推移しています。 作年の年末以降、オミクロン株による感染が広がっています。

県では、医療機関や市町村との情報共有を図り、関係機関との連携のもとに新型コロナウイルス感染症対策 ウイルスとの戦いは、正しい情報(エビデンス)に基づいて、冷静に対処することが何よりも重要です。 を推進してい きます

引き続き、県民の命を守る「医療提供体制を堅特」するととがに、「3回目のワクチン接種を迅速に進める」こと により、感染の拡大に対処します。

県民のみなさまには、「適切な感染坊止」を心がけ、「日常生活を維特」してい*ただく*いな願いします。

●小児科外来情報●

北部地区(田中小児科医院)

ここ1か月で、発熱のためコロナウイルス PCR 検査を実施した例の 80%が場性であった。 園児や学童が罹患し、家庭内で感染が広がる例が多い。

胃腸炎以外は無く、今年は RS は見ていない 子どもたちは軽症で経過しているようです。

中部地区(国本内なこどもクリニック)

学童、学校、家庭内で Covid19 例に接触ありの疑い濃厚 感染性腸炎は減少した。他の登録疾患はなかった。 例が増加している。

南部地区(南奈良総合医療センター小児科)

新型コロナウイルス感染症の流行が続いている。小児で 家庭での感染は高確率で、保育所・学校で濃厚接触者に はほとんどが軽症例で、入院を要することはほとんどない。 **恒当しなべても感染例が多数みられている。**

アデノウイルス感染やRSウイルス感染が散見されている。 胃腸炎は減少、インフルエンザの流行もない。

LINE OR BRIDE ▼エンジポイント 回動用方案 □作送車の

https://www.caa.go.jp/notide/assets/consumer_system_ は除菌効果を謳う商品は、目的に合ったものを、正しく逆びましょう。」 **新型コロナウイルス対策ボスター「新型コロナウイルス原発信が策** 20200626_01.pdf

令和4年3月25日(金)発行

20 30 4 4 30 30 4 4 30 30 4 6 7 5 7 5 7 6 7 6 7 6 7 6 7 6

奈良県感染症情報

www.prof.nara.jp/27874.htm TEL:0744-47-3183 奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター) 令和4年 第11週(3月14日~3月20日)

- 新型コロナウイルスの消毒・除属方法について
- 2月報(月単位報告対象疾患(性感染症・薬剤
 耐性菌感染症)の以況)

◆定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患)◆

			r		r	r
High State of the	<u> </u>	1	→	→	→	↑
Ę	a }	77	+	←	ĸ	+
D H Z	ALCOP A	71	7	→	1	→
	増成	7	←	+	ĸ	7
奈良県	(前週)	(2.00)	(0.15)	(0.21)	(0.12)	(0.03)
松	定点当たり	1.56	0.29	0.21	60'0	0.03
元 一 中	次 日 日	感染性胃腸炎	突発性発しん	RS ウイルス感染症	0因豆剪結割莫勢為	沙痘
E	垣	_	N	m	4	Ŋ

増減:過去の適間平均数と比べたときの変化 ◆◆急増、◆増加、▼やや増加、◆横ばり、となや減少、◆減少 (疾患毎に、基準値を定めています。) 散発 少し形が かも流行

◆ 県 内 概 況 (新型コロナウイルス 関係) ◆

新規感染者数は全国的にみれば緩やかな減少が続いていますが、高齢者では、高齢者施設等や医療機 第 11 週の新型コロナウイルス新規感染者数は 3,535 名と第 10 週の 5,212 名よい咸少しています。 関における感染が維続しているとされています。

県民の皆さまには、「適切な感染防止」を心がけ、「日常生活を維持」していただくよう、お願いいたします。

◆県内概況(その街の感染症)◆

第 11 週の感染性胃腸炎の定点当た9報告数は1.56 と第 10 週の 2.00 かふ減少しています。 この他の感 染症も特に大きく増加傾向にはありません。 また、 今年に入ってから第 11 週までインフルエンザの報告はあ りません。

新型コロナウイルスの消毒・除菌方法について

正しい方法で使用しましょう。また、どの消毒剤・除菌剤を購入する場合でも、使用方法、有効成分、濃度、使 現在、「消毒」や「除菌」の効果をつたう様々な製品が出回っていますが、目的にあった製品を、正しく選び、 用期限などを確認し、情報が不十分な場合には使用を控えましょう。

新用してナイノフィ当主・学者七年一覧(チカゲカ所の連重がなかます)

ハイコー氏国	アンマンに申		杉田:コンノンマン(中中・内国ノび) - R(こすいしょう) たって仮及いなり ア
力法	七/	非	現在の市販品の薬機法上の整理
水及び石鹸よる洗浄	0	0	
熱水	0	×	
アルコール消毒液	0	0	医薬品・医薬部外品(モノヘの適用は「雑品」)
次亜塩素酸ナトリウム水溶液 (塩素系漂白剤)	0	×	「雑品」(一部、医薬品)
手指用以外の界面活性剤 (洗剤)	0	- (未評価)	「雑品」(一部、医薬品・医薬部外品)
次亜塩素酸水 (一定条件を満たすもの)	0	— (未評価)	「雑品」(一部、医薬品)
亜塩素酸 水	0	(未評価)	「雑品」(一部、医薬品)

※散核よし分類は各有名数型が一種など、そのごう説は「中哲論権」の信念 ※一般、食品添加物は核やする数型がなど、食品衛生徒の推動やいる縁つかないます。 (出典)早生労働省・エントージ、独型コロナワインの連携・高道方法にいって「厚生労働省(mbr.so.i)

奈良県感染症情報

www.prof.nara.jp/27874.htm TEL:0744-47-3183 奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター) 令和4年 第12週(3月21日~3月27日)

• 小児科外来情報

◆定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患)◆

東部		←	→	1	→	→
中路		7	←	44	→	→
北部		7	4	^	→	1
	増減	7	←	←	→	→
奈良県	(前通)	(1.56)	(0.29)	(0.03)	(021)	(60.0)
	定点当たり	1.47	0.38	90.0	0.03	0.03
市出か	D D	感染性胃腸炎	突発性発しん	水痘	RSウイルス懸楽品	1因5頁給計模奏為
些	乜	_	2	m	4	4

19数:過去の適間平均数と比べたともの数か ◆◆急は、◆増加、4をな割加、◆横式)、4をを減少、◆減少 (疾患毎に、基準値を定めています。) 散発 少し進売 かが消化 発生状況: 大流行

◆県内概況(新型コロナウイルス関係)◆

第 12 週の新型コロナウイルス新規感染者数は 2/21 名と、第 11 週の 3535 名よが減少していますが、引き続 き高い水準で推移しています。

拡大しました。県民のみなさまには、「適切な感染防止」を心がけ、「日常生活を維持」していったくしつお願い 春休みや入学式、人事異動などの季節になりました。これまでも、大人数で集まる機会をきっかけて感染が

◆県内概況(その街の感染症)◆

定点把握感染症の報告数は低い水準で推移しており、感染性胃腸炎の報告数も第 11 週から減少しつ、ま す。 本先の戦後性 門陽炎として代表的なログウイルス胃腸炎が流行する時期です。 令和 2 年以降、報告数は 減少していますが、今後は再び増加する可能性もあります。こまめな手法、を心がけましょう。 コロナウイルス感染症以外に流行している感染症はない。 北部地区(田中小児科医院) ◆小児科外来情報◆

上記以外の外来受診者は花粉症と発熱の無い普通感冒の患 患児からの家族内感染例も多い。軽症の印象。 中部地区(国本内科こどもクリニック) 学童の Covid19 陽性者が増加。

南部地区(南奈良総合医療センター小児科)

感染性腸炎は減少。その他の登録疾患はなかった。

新型コロナウイルス感染症の流行は続いている。小児年齢では 普通感冒、ウイルス性胃腸炎以外には流行性疾患はみられな 人院を要する状態の児はまとんどいない。

C清水 茜/講談社 の原生労働者

出典:厚生労働省 HD より | Https://www.mthw.gojp/st/oovid-19/qa-jichiai-iyo.dd-am-nkushishisets.uhm1#24

令和4年4月8日(金)発行

201 301 4 4 30 301 4 4 30 301 4 4 30 301 4

奈良県感染症情報

www.prof.nara.jp/27874.htm TEL:0744-47-3183 令和4年 第13週(3月28日~4月3日) 奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

www.prof.nara.jp/27874.htm TEL:0744-47-3183

中略

岩部

描減 1 K

(副領) (1.76)

定点当たり

奈良県

◆定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患)◆

小児科外來情報
 3月報(月単位報告対象疾患(性感染症・薬剤耐性崩感染症)の以況

7 1

ŧ

+

(0.44 0

0.38 60.0

1.71

感染性胃腸炎 突発性発した

順位

000 90.0

90.0

A群溶連菌咽頭炎

手足口病

N

1因頭結膜熱

発生状況: 大流行 Ŋ 4

0.03

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

奈良県感染症情報

令和4年 第14週(4月4日~4月10日)

令和4年4月15日(金)発行

- ・ 病原体(ウイルス)検川情報(3月)
- ・ 咳エチケットと手洗いをお願いします

◆定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患)◆

100	<u> </u>	7	→	→	↑	→
中部		77	←	→	→	→
岩路		1	←	44	44	1
奈良県	増減	1	←	44	44	7
	(前週)	(1.47)	(0.38)	(0.03)	(0.06)	(0.03)
	定点当たり	1.76	0.44	60.0	60'0	90'0
疾患名		感染性胃腸炎	突発性発しん	A群溶連菌咽頭炎	水痘	1因頭給
原 位		_	0	m	m	Ŋ

増減・過去も適間平均数と比べたときの変化 ←←急増 ←増加、Jやや増加、→横ばい、Vやや減少 ▼減少 (疾患毎に、基準値を定めています。) 散発 少し活行 もも消化 発生状況: 大流行

◆県内概況(新型コロナウイルス関係)◆

奈良県内における新型コロナウイルス新規感染者は、ピーグを脱したものの、今なお下がりきらない、水準に 第 13 週の新型コロナウイルス新規感染者数は 2616 名と第 12 週の 2421 名より増加しています。

あり、感染力が高いオミクロン株の BA.2 系統への置き換わりが懸念されるなど、ウイルスの特性とこれまでの 経験を踏まえて、第7波に備えた対策を確立しておくことが必要です

奈良県内における新型コロナウイルス新規感染者は、ピークを脱したものの、今なお下がかきらない水準にあ り、感染力が高いオミクロン株のBA.2 への置き換わが懸念されるなど、ウイルスの特性とこれまでの経験を暗 保健研究センターでは、県内での変異株の流行状況を把握するために、新型コロナウイルス遺伝子解析を 実施しています。引き続き、国内外の情報を収集しながら、遺伝子解析による変異株の流行状況把握に努め

まえて、第7波に備えた対策を確立しておくことが必要です

◆小児 哲外来情報◆

※ウイトス分離回定日での集計結果

たいと考えています。

第14週の新型コロナウイルス新規感染者数は2903名と、第13週の2616名より増加しています。

◆果内概況(新型コロナウイルス関係)◆

発生状況: 大流石 流石 やや流石 少し流石 散発 (疾患毎に、基準値を定めています。) 増減:過去5週間平均数と比べたときの変化 44条組 4増加、オやや増加、4横ばい、4枚が減少 4減少

奈良県では、これまで、オミクロン株による感染状況を分析するとともに、それに対応した対策について、事例研究を行い、医療・福祉関係者と意見交換を重ねており、それを基に第7波に備えた奈良県独自の対処方 針を今月中に決定し、実践に移したいと考えています。

◆航原体(ウイルス)被出情報(令和4年3月)◆

検体採取目	2021/12/23	
臨床診断名	感染性胃腸炎(3)	
その他		
南部		
中船	3	
北鄉		
*	ВШ	
検出病原体	7.12	

感染症発生動向調査において、新型コロナウイルス対応のため、医療機関より提供いただいた検体の検査が遅延して おどます。

◆咳エチケットと手洗いをお願いします◆

整型コロナウイルス感染値式

おひとりおひとりの数エチケットを手洗い、 マスク着用などの実施がとても重要です。

感染リスクが高まる場面として、

マスクなしでの会話、共同生活、休憩室など マスクを外す瞬間に注意が必要です。

出典:厚生労働省HP

居場所の切り替わりの際にご注意ください。

https://www.mhlw.go.jp/content/1090000000000034132.pdf

CHEST BREET BRICHESS 3つの第エチケット 野込 正しいマスクの制用 DALDOURS ECHANA G STATE ELVERAND

人と会うと世は Ī 開業 家族内感染のCovid19陽性例が増加。乳幼児例もあるが特 当院では、11歳以下の新型コロナワクチン接種希望者は COVID-19 以外の感染症に因る受診者は少ない。 中部地区(国本内科にどもクリニック) 接種後に発熱した子どもは無い。 北部地区(田中小児科医院)

接触状況・症状から陽性と考えられる例で PCR 陰性例もあり に重症経過はなく発熱、感冒様症状で経過するものが多い。 発症経過後陽性判明までの時期等の集積検討が特たれる。 感染性腸炎は減少した。その他の疾患はほとんどない。

南部地区(南奈良総合医療センター小児科)

接触に相当しない小児でも散見され鑑別を要する。症状は COVID-19 感染症の流行は若干落ち着いてきたが、濃厚 普通感冒と大差ない。 胃腸炎が増加傾向にあり、処置を要する例が多い。ノロ・ロ タ・アデノウイルス迅速での陰性症例。



品質を提 : つ厚生的機会 (Pananasas) ***

出典:厚生労働省 IP より